

観光立国の実現に関する目標について

- コロナによる変化やコロナ前からの課題を踏まえ**質の向上を強調**するとともに、地域の目標への引き直しやすさも考慮。
- 今後の世界的なコロナの収束見通しが不透明であることも踏まえ、**人数に依存しない指標**を中心に設定。

持続可能な観光地域づくり戦略

目標 持続可能な観光に取り組む地域数 (新たに設定) (2022年) 12地域 (うち 国際認証・表彰地域6)

インバウンド回復戦略

目標 訪日外国人旅行消費額単価 (新指標) (2019年) 15.9万円/人

目標 訪日外国人旅行者一人当たり
地方部宿泊数 (新指標) 1.35泊

目標 訪日外国人旅行者数 3,188万人

目標 日本人の海外旅行者数 2,008万人

目標 国際会議の開催件数割合 アジア2位 (主要国シェア約30%)

国内交流拡大戦略

目標 日本人の地方部延べ宿泊者数 3.0億人泊

目標 国内旅行消費額 21.9兆円

2025年目標

100地域
(うち 国際認証・表彰地域50)
(大幅増・全国に展開)

20万円/人
(2019年の25%増)

1.5泊
(2019年の10%増)

2019年水準超え (注)

アジア最大の開催国
(主要国シェア 3割以上)

3.2億人泊
(2019年の5%増)

22兆円
(2030年目標の前倒し)

早期達成を
目指す目標

旅行消費額
5兆円

早期達成を
目指す目標

20兆円

(注) 世界的なコロナの収束見通しが不透明な中で設定したものであることに特に留意が必要。